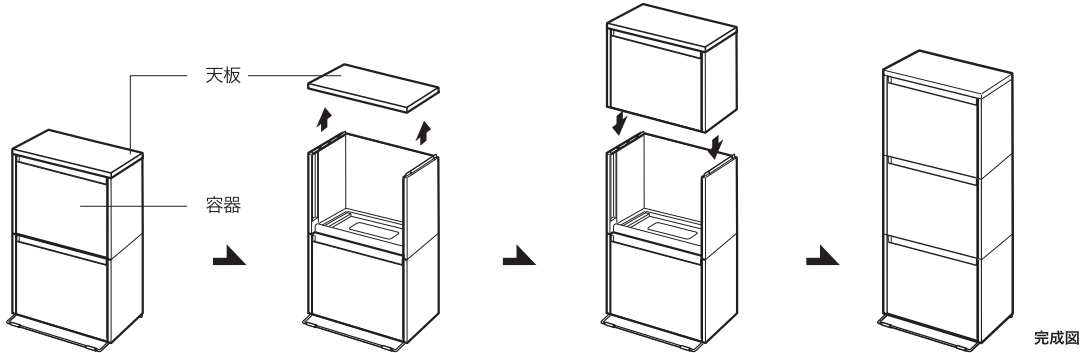


■ 追加方法

1. 使用している商品の容器と天板を取り外します。天板は裏にあるツマミを図Cのように引き上げ、ツメを外すように持ち上げて下さい。
2. 追加するダストボックスを上から、爪の位置を合わせて隙間が開かないように、しっかりとはめ込んで下さい。
3. 本体が隙間無く取り付けられているか確認し、容器を本体にセットし直して完成です。

△ご注意 一度組み立てたものは構造上、取り外すことはできません。



完成図

天板の外し方

天板裏左右2ヶ所のツマミを内側に寄せるように持ち上げると外せます。



図C

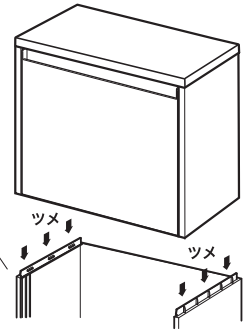
追加の仕方

製品の前後を合わせ、6ヶ所のツメの位置を確認し、パチンと音がするまで確実にはめ込みます。

天板を外した本体

△ご注意

はめ込み作業は、指をはさまないように、注意して下さい。



- △ご注意** ・追加は上段のみ出来ます。途中の段や下段に追加することは構造上出来ません。
 ・安全上、3段セットへの追加はできません。全体の段数は必ず3段以下でご使用下さい。
 ・追加する際には、本体の向きを確認し、向きをそろえて追加して下さい。

使用上のご注意

- △事故や破損の原因となりますので、以下の項目に注意して下さい。**
- 転倒し危険ですので、製品に寄りかかったり、上に乗らないで下さい。
 - 転倒の原因となりますので、引出しは出したままにしないで下さい。
 - 容器の破損、又は、転倒の原因となりますので、ピンや缶等を投げ入れしないで下さい。
 - 転倒の原因となりますので、重いものは必ず下の段に入れて下さい。
 - 1段あたりの耐荷重の目安は約2kgです。耐荷重を超えて使用した場合、又は、無理処理つめ込む等、容器が膨れたままの使用は、容器の破損や事故に繋がりますので注意して下さい。
 - 移動する際は、本体全体を持つようにし、容器の飛出しや、本体の解体、又は、転倒にご注意下さい。
 - 容器開閉の際は、指や手を挟まないように注意して下さい。
 - 天板には貴重品や壊れ易い物、不安定になる物を乗せないで下さい。
 - 乱暴な開閉を行うと、容器の飛び出しや、落下等、本体全体が転倒する原因となりますので注意して下さい。
 - 本製品（容器）は構造上水を溜める事は出来ませんので、水分を含んだ物を入れると、水漏れする原因となりますのでご注意下さい。
 - 小さなお子様のご使用の場合は十分にご注意下さい。本製品の取扱方法を理解した大人の指導のもとで、転倒、指や手を挟まないようにご注意下さい。
- △本製品を設置する際、以下の項目に注意して下さい。**
- 変色や劣化の原因となりますので、直射日光が当たる場所はお避け下さい。
 - ストーブ、コンロや、調理家電品等、火のそばに置かないで下さい。
 - 転倒の原因となりますので、必ず平らな場所に設置してお使い下さい。
 - 壁に傷が付かないように、壁から離して設置して下さい。
 - 床の材質により、脚ゴムが張り付いたり、跡が残る事があります。
 - PP収納用キャスター、PP収納用滑り止めは、ご使用になれません。
- △変形・変質の原因となりますので、以下の項目に注意して下さい。**
- 加熱した鍋や湯沸かし等を置いたり乗せたりしないで下さい。
 - 天板に重たい物を乗せないで下さい。また、天板中央部や、端部に荷重が集中しますと、天板が変形し容器が引出せなくなることがあります。
 - 本製品に密閉性はありません。ニオイやカビの発生を防ぐ為ピン・カン・牛乳パック等は水洗いし、乾燥させてから入れて下さい。湿り気のある物を入れる際には、市販ポリ袋をご使用下さい。
 - 食品保管等、ゴミ箱以外の使い方をしないで下さい。
 - お手入れする際は、うすめた中性洗剤を使用し、傷が付かないよう、柔らかい布で拭き取って下さい。

部品名	天板/容器/本体	転倒防止用パーツ
材質	ポリプロピレン	スチール(粉体塗装)/シリコーン(脚ゴム)
耐熱温度	100度	
耐冷温度	-20度	

改訂 2011.11